

令和5年3月14日発行

学校だより

第3号



富山県立富山聴覚総合支援学校 富山県富山市下奥井1丁目9番56号

TEL (076)441-9172 FAX (076)441-9188

E-mail toyamachokaku@ed.pref.toyama.jp

URL <http://www.toyamat-sh.tym.ed.jp/>



「いっぽいっぽ」

教頭 出町 雅子

暖かく穏やかな日が多くなり、春めいてきました。今年一年、少しずつ日常を取り戻しつつあることを実感しながら、幼児児童生徒たちの成長に驚かされ、また感動した日々でした。

先日幼稚部の遊びの時間にサーキットを行いました。高さのある梯子を四つん這いで渡るところで教師の手を求めている幼児が、そのうち自分で工夫をして落ちないように慎重に一人で進んでいくようになりました。また両足跳びができなかった幼児に手をもって跳ぶタイミングを援助していたところ、2、3回すると教師の手を振りほどき自分で両足跳びができるようになっていました。短時間の中に変化、試行錯誤、そして成長が見て取れた瞬間でした。

小学部の球技会では、自分のチームが勝つことだけでなく「みんなが楽しめる球技会」を目指し、ルールの工夫について何度も話し合いを重ねていました。それを基に自主的に昼休みに練習に取り組む児童もみられ、当日は両チーム拮抗した試合展開となり、それぞれがベストを尽くして達成感を味わった行事となりました。

幼児児童生徒たちは日々成長しています。ぐ〜んと伸びるときもあれば、時間をかけて伸びるときもあります。しかし、どれも幼児児童生徒にとっての「いっぽ」には変わりありません。

今、幼児児童生徒たちは、就職・進学・進級の時期を迎えました。中には社会に旅立つ生徒、新しい進学先に進む幼児児童生徒もいます。学校生活の中で身に付けた、頑張る力、自分で考える力、友達と協力する力等を活用し、一つ一つ目の前のことに挑戦しながら「いっぽいっぽ」歩みを進めていってほしいと願っています。

令和4年度アクションプランとその評価

学習活動	「生徒が自己実現を目指し、自己肯定感を高めながら主体的に学んだり、自己決定したりするための支援の工夫」について、高等部ではキャリア・パスポートの見直しや自立活動の授業検討を行った。レイダーチャートを生徒が記入しやすいよう改訂することでキャリア・パスポートを活用することが定着し自己評価に生かすことができた。(評価 A)
学校生活	「緊急時における救急体制の整備及び対応訓練の充実」として、保健部では各学部の緊急対応カードの様式を統一し、対応訓練を各学部で3回実施した。緊急時の連絡体制の見直しや救急用品の整備を行った。(評価 A)
その他 (研修)	「本校の学校課題解明に活かすための北畠研研究大会における情報収集及び情報発信」として、研修部では北陸地区聾教育研究会の運営をとおして、幼児児童生徒の成長や今後の課題を確認することができ、次年度の授業研究等につなげることとした。(評価 A)

※詳細については、本校ホームページをご覧ください。

幼稚園

<雪遊び>



寒い冬の間でも雪が降ると、子供たちは元気に外に出て遊んでいます。

雪だるまや雪うさぎを作って葉っぱや花、木の枝を付けて飾り付けたり、シーソーやブランコ等の遊具にちょこんと座らせてみたりして遊んでいます。また、グラウンドの築山では、坂道を歩いて登ってはそりで滑ったり、全身で転がったりしてダイナミックな活動を楽しんでいます。



<豆まき会>

2月3日、豆まき会を行いました。事前に節分について知り、鬼を作って豆まき遊びをしたり、絵本を読んだりして鬼のイメージを広げました。また、自分のおなかの中にある鬼について考え、「もじもじ鬼」「あくび鬼」「あばれ鬼」がいと話しました。



当日は、豆まきの歌を歌ったりダンスをしたり、自分のおなかの中にある鬼をやっつけたりしました。青鬼が来てとても怖そうでしたが、豆をまいて鬼を追い出しました。春の節目の行事を通して、子供たちが健やかに成長してくれることを願っています。



小学部

<書き初め大会>

3学期始業式の1月10日に書き初め大会を行いました。

小学部では、日本の伝統文化に触れる行事として毎年実施しています。12月から練習し、新年を迎えたい緊張感の中、本番に臨みました。筆で書くことに集中する児童、「はらいをきれいに書きたい」「字のバランスに気を付けて書きたい」等、目標をもって取り組む児童。それぞれが一生懸命取り組みました。

書き上げた自慢の作品を廊下に掲示し、子供たちは友達と頑張りを認め合い、うれしそうにしていました。



<卒業おめでとう集会>

3月1日に卒業おめでとう集会を開きました。

準備は、6年生には内緒で、4年生を中心に在校生で協力して行い、6年生が楽しんでもくれるようなゲーム、ダンスを考えました。ゲームでは、子供チーム VS 先生チームで盛り上がり、子供チームの勝利に大喜びでした。6年生からも小学部での思い出の発表がありました。



クイズ仕立てにしてあり、とても楽しい発表でした。在校生に宛てた心のこもった手紙のプレゼントもあり、思い出に残る集会になりました。



中学部

<書き初め大会>

1月10日に書き初め大会が行われました。中学部の生徒が一か所に集まり、思いっきり筆を運び、それぞれ指定された言葉を書き上げました。書かれた作品から金賞、銀賞、銅賞が選ばれ表彰されました。廊下に掲示された作品を見るたびに生徒たちの1年の決意を感じるような気持ちとなりました。



<弁論大会>

1月26日に弁論大会を行いました。体験を通して考えたことや日頃思っていること等をまとめ、発表する力と態度を養うために毎年実施しています。今年は、「友達の質と数、どちらが大事？」学校の先生や友達にアンケートをしてその数やコメントから考えたことを発表したり、「視線恐怖症について」自分の弱さに向き合いつつも前向き取り組んでいきたいという発表があったりしました。

どの生徒も手話を交えて堂々と発表することができました。2年生、3年生は、昨年からさらに成長を伺える時間となりました。



高等部

<課題研究発表会>

課題研究に取り組んだ1年間の成果を発表するため、2月7日に課題研究発表会を行いました。

今年は専攻科機械科「じゃんけんマシンの製作」の発表でした。学習発表会のお客さんに楽しんでもらうことを目標に、製作過程で工夫したり苦労したりした点等についての発表がありました。発表を聞いていた生徒からたくさんの質問があり、学びの深まる時間となりました。



<龍谷富山高等学校との交流及び共同学習>

同世代の生徒の生活や考え方を知り、主体的にコミュニケーションを図ることを目指して、1月17日に3年ぶりに交流活動を行いました。龍谷富山高校の福祉コース2年生8名が来校し、両校で企画したゲームや手話教室等を行い、交流を深めました。「新聞つなぎゲーム」では、それぞれのグループで作戦を練り、協力して競い合いました。その中で生徒同士が積極的にコミュニケーションを取り合う様子がみられました。「もっと話がしたかった」「また会いたい」などの感想が聞かれ、とても充実した交流になりました。



生徒会活動



生徒会執行部を中心に、あいさつ運動を行いました。

今年度は、「あいさつ手話動画」を作成し、見える校内放送で流しました。動画撮影も生徒が行い、幼稚部や小学部の幼児児童、教員が、撮影会に楽しく参加したり、手話であいさつをしたりする姿がみられました。生徒からは、「あいさつの大切さが改めて分かった」と感想が聞かれるなど、活動への充実感が伝わってきました。



給食週間

1月23日～27日に、学校給食への関心や理解を深めるために、給食週間を実施しました。

生徒会保健委員会は、「免疫力を高める食事～コロナに負けない！～」をテーマに給食週間中の献立を考え、児童会体育保健委員会は、給食クイズを作成しました。調理の様子を撮影したビデオを校内放送で見たり、栄養職員や調理員に感謝の言葉を述べたりする



ことを通して、給食への感謝の気持ちを育むことができました。

部活動

卓球部 新チーム始動！

高等部2年生中心の新チームが始動しました。

「基礎トレーニングが自分たちを強くする。」とボールを打つ練習の前のトレーニングにも力が入っています。

卒業学年の生徒も卒業後働く体力を付けるために、曜日を決めて練習に参加しています。先輩たちと練習をすることで新チームも活気のある練習を続けています。



受賞・検定合格者



令和4年度 全国豊学校体育賞会
体育賞 専攻科2年 程塚 麗矢
第29回全国特別支援学校文化祭作品展
書道部門 全国豊学校長会賞
高等部2年 堺 琉莉
造形・美術部門 優秀賞
高等部3年 久蔵 陽菜
第61回小学生図画コンクール
「わたしのママ・パパをかきましよう」
入選 小学部2年 樋口ほのか
佳作 小学部1年 山崎 春馬

令和4年度 第72回富山県をよくする会表彰
団体の部 中学部卓球部
令和4年度 生徒図書委員表彰
高等部3年 久蔵 陽菜
室井滋のしげちゃん☆おはなしラジオ
図画・作品コンクール
しげちゃん賞 高等部2年 森元 陸樹
FM とやま賞 高等部2年 堺 琉莉
山崎 碧和
佳作 中学部3年 井伊 奏詠
第69回ビジネス文書実務検定
速度部門2級 高等部2年 堺 琉莉
日本漢字能力検定3級 高等部3年 久蔵 陽菜